

しまなみロード

8月17日(土) ~ 8月20日(火)

IN しまなみ海道(尾道市マリユースセンター、みやくぼ石文化交流館)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島出発 ユースセンター到着	振り返り
2日目	サイクリング(因島、生口島、大三島、伯方島、大島)		振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

一日目: 夏空の下、元気な31名が揃いました。今年もしまなみ海道を皆で走ります!! 尾道に全体集合をしグループに分かれると、早速尾道に向かって出発です。電車を乗り継いで行きますので、道中で沢山交流をはかりました。名前はもちろんのこと、好きな事やハマっている事、学校の様子など、学年問わず沢山の会話が弾みました。ゆえにあつという間に尾道に到着しました。到着後に昼食を済ませ、今回三日間共に走る自転車を借りに行きました。普段乗っている自転車や、少し普段より大きめの自転車など、お気に入りの自転車を選びました。いきなり海道を走るのではなく、自転車の基本知識や注意意識、集団で走るための心得を学びました。そして、実際に走行練習をし、全員合格をもらってからスタートとなります。普段乗っていても、【みんなで走る】となると勝手が違います。前の人にぶつかったり、上手く停まらなかったり、課題が沢山見つかりました。それらをこの三日間の内にマスターしてもらいます。なんとか全員合格をもらい、ついに出発です!! はじめの島“向島”には渡船で渡ります。そこから、今治市までひたすら【青い線】を辿って向かいます。初日の走行距離は10kmにも満たないですが、走るや否や「チェーンが外れた!」や、「〇〇くんがこけた。」、「パンクしました。」などトラブル続出でした。自分達で解決できる事はしてもらおう事もこのキャンプの課題です。様々なトラブルを乗り越え、本日の宿泊地に到着しました。少し休憩をしたら、テントを立て、シャワーを浴び、振り返りを行いました。振り返り内容は『過去・未来日記』です。今日の出来事と、明日のこうありたい(ねらい、願望)一日を描いてもらいます。未来日記を描く際に、今日一日走って、『自分達のグループに何が必要なか』を考えていただきました。まだ漠然として、イメージが湧きにくい方もおられたので、明日以降、より話し合っ具体的を考えていただきます。長い距離の移動と自転車走行で思った以上に疲れていたようで、皆少ししたら熟睡されていました。

二日目: 朝は起床時間になると一斉に起きて来られました。朝から洗面、着替え、荷物の片付け、テント撤収とやる事が多いです。しかし、皆声を掛け合っ、助け合っ、テキパキと進めておられたので、予想以上に早く終える事が出来ました。朝食をしっかり食べ、今日、明日のお小遣いをもらったら、出発です!! この日は一番長く走ります。島も五つ渡ります。昨日のように数々のトラブルを起こさないよう、より声を掛け合っ進みます。島を渡る際、大きな橋を越えます。橋の下を走ったり、高速道路の横を走ったり、普段走らない場所を通るので、大興奮されていました。三つ目の島“生口島”にて昼食を取りました。支給されたお小遣いから、自分達の食べたいものを選んで購入できるので、それもみんなにとって楽しみの一つとなります。しっかり食べる方や、最終日に豪華に食べたいので少し節約される方など、思い思いのものを購入されていました。また、生口島には“サンセットビーチ”という海水浴が出来るところもあります。気分転換として、海遊びを楽しむグループもありました。この辺りからグループメンバーが皆に意識を向け始め、声の掛け方が変わり、積極的にサポートをする姿が伺えました。夕方になるにつれ西陽が強く、暑さが増してきましたが、負けずに漕ぎ続けました。本日最後の島、“大島”に辿り着きました。この島の丘の一番上が宿泊地です。つまり、ひたすら登り坂となっています。疲れた体にこの坂は堪え、中には涙を流しながらも漕がれる



方もおられました。しかし、誰一人欠けることなく宿泊先に辿り着きました。到着後は入浴、振り返り、夕食と順に済ませました。振り返りや食事中に疲れからウトウトされる方もおられるほど、皆力を出し切られたのだと思います。就寝は電気を消すとすぐに寢息が聞こえてくるほど、即就寝されました。明日はゴールの今治市上陸です。この調子で怪我、事故なく進みましょう。



三日目： 昨夜はしっかり休まれたので、朝から元気な声が各部屋から聞こえてきました。片付けや荷造りを終わらせると、昨日出来なかった振り返りを行うグループもありました。朝食を沢山食べたら、ゴールの今治市に向けて漕ぎ出します。天候は雨でしたが、連日の猛暑に気温が上がり切っていたので、ちょうど落ち着く気候で走る事が出来ました。昨日は丘を登り切ったので、ひたすら下り坂です。スピードと信号や車に気を付けながら、颯爽と進みましたので、風を感じ、とても気持ちよさそうでした。坂を下りきる頃に目の前に最後の橋、【来島海峡大橋】が見えてきました。これまで渡った橋とは比べ物にならない程の大きさで、皆大興奮でした。高さもちろん一番高く、そこから見える景色はとても美しかったです。大橋を渡り切るとついに四国、今治市上陸です。ここからは市街地に入るの、もう一度脇を締め直して進んでいただきました。そして、ついにゴールの【今治城】にたどり着くことが出来ました！！これまでの疲れから、目に見えた喜びはあまり見受けられませんが、達成感は大いに感じておられる様子でした。今治城で写真を撮った後は、残り時間いっぱいかけて今治市観光をしました。お土産を購入しに行ったり、名産【今治タオル】を見に行ったり、美味しいものを食べに行ったりして、グループで相談して、行きたいところを調べて楽しみました。合流時にはお土産を沢山持って、大変ご満悦な様子な方々がおられました。集合時間となり、今治市を出発しました。行き先は“東予港”です。ここからジャンボフェリーに乗って、大阪南港へと帰ります。港が近づくと遠くにフェリーが停泊しており、その大きさに歓声が上がっていました。ターミナルに到着し、手続きを終えたら乗船です。船内に入ると、まるでホテルのような大きさに驚きを隠せない様子でした。各部屋に入り、入浴を済ませ、振り返りを行いました。三日目となると、話す内容も深く、意見も出て、より濃い絵日記を描かれていました。寝て起きると大阪に帰っています。本当にお疲れ様でした。



四日目： 朝起きるとフェリーは停泊しており、大阪に帰って来ていました。キャンプ最後の食事はフェリーでいただきました。食後はフェリーを下船し、最後の振り返りを行いました。内容は、『しまなみロードから何を学び、どう活かせるか？』です。その内容についてこれまでのキャンプの様子や振り返りを思い出し、話し合いました。皆、疲れが色濃く出ておりましたが、真剣に向き合っておられました。振り返り後は、尼崎まで電車を乗り継いで向かいました。尼崎に帰ってくると、これまでの緊張が一気に緩んだのか、ホッとされた雰囲気がかもし出されていました。一緒に走った友達と、「また会おうね！」と約束されている様子も伺えました。



<キャンプ総括>

今年は久々に大人数でのしまなみ走破でした。大人数にも関わらず大きな怪我や事故がなかったのは、ひとえに皆さんが自転車に対して、ふざけずに真摯に向き合っていただけのおかげです。本当にありがとうございました。今回ご参加いただきました方で、あらゆる面でお世話になったお兄さんがおられましたので、この場をお借りしてご紹介させていただきます。その方は中学生のお兄さんで、他の方々と比べて身長も学年も一つ突出されていました。そうした年下が多い中だと、一線を置いたり、あまり関わろうとされなかつたりされる事があるのですが、その方はとにかくグループのメンバー達と交流を深め、会話も合わせたり上げたりされ、とにかく周りと関係を築いておられました。そうすると自然と人はその方に集まってきて、リーダーの存在が薄れる事があるのですが、しっかりとリーダーを立てて、その後の指示や動きについては、リーダーにキレイにパスを送られていました。「リーダーに興味ないの？」と聞いても、「いや〜…」とあまりそこには興味はないようでした。【場の駆け引き】が本当に上手で、リーダーも良い参考になったと思います。リーダーがメンバー皆さんのお手本になるようにと、常日頃訴えていますが、こうしたメンバーから学ぶ事も多々あります。キャンプは持ちつ持たれつの関係であると、改めて実感させられました。

(竹中 哲郎)